

5年振りに開催！

香川県さぬき市・北海道剣淵町との児童交流



7月26日（金）から7月29日（月）の4日間、令和6年度さぬき市・剣淵町児童交流事業が行われました。

この交流事業では香川県さぬき市と剣淵町の児童が参加し、今年度はさぬき市内の小学校から5年生20名と、剣淵小学校5・6年生25名が参加し交流を行いました。



▲アルパカ牧場見学



▲カヌー・SUP体験

児童の交流は27日・28日の2日間で行われ、27日にレークサイド桜岡において児童の対面式を行い、その後アルパカ牧場や絵本の館、チャリーディングの演技を見学、桜岡湖でカヌー・SUPの体験活動を通して交流を深めました。

2日目は、旭川市科学館と旭山動物園を見学し、夜はレークサイド桜岡でお別れパーティを行い、その中で2日間の活動の様子をスライドショーで振り返りました。

また、児童による記念品の交換、剣淵町児童による「よっちょれ」の披露が行われ、交流事業の最後を締めくくりました。



▲お別れパーティ「よっちょれ」を披露

1日目には緊張した面持ちの児童たちも、2日間の交流を通じて仲良くなり、参加した児童からは「大切な思い出になった」「2日間とても楽しい体験ができた」「旭山動物園では、香川県では見ることができない動物が見られてよかった。剣淵町の人たちがたくさん思い出をつくることのできた」と語っており、充実した夏休みとなりました。

【さぬき市・剣淵町児童交流事業】

この児童交流事業は、平成4年度から始まり、訪問は毎年交互に行っています。

令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響からさぬき市・剣淵町を行き来しての交流は中止していましたが、今年度は従来のホームステイでの受入からレークサイド桜岡に宿泊する形式に変わり、5年ぶりの開催となりました。来年度は剣淵町児童5・6年生を対象として、さぬき市への訪問を予定しています。